

ピアノ爆弾へ 出張大阪



7月演奏会 弾き手を公募

広島原爆被害をめぐり、抜けた被爆ピアノが七月、大阪市天王寺区で開かれる演奏会の舞台上に上

手を募っている。ピアノ

を保存する広島市安佐南区の調律師矢川光則さん(55)は「ヒロシマの心を届ける機会に」と願う。

があちこちに残る。三年前に矢川さんが譲り受けて再生。絵本のモチーフにもなった。

一九三二年製のアップ

被爆ピアノをテーマにした曲作りを続けるピテ

ライトピアノ。爆心地から約一・八キロの広島市中

二スト山田紗耶加さん

区の民家で被爆し、爆風

大阪府IIが演奏会に出演

で突き刺さったガラス跡

するのに合わせて、矢川さ

大阪で今夏ある演奏会に向け、被爆ピアノの調整をする矢川さん

んに被爆ピアノの「出演」の依頼が舞い込んだ。

同寺は聖徳太子が創建したとされる。会場は五重塔を望む境内。七月十九日午後七時、山田さんが被爆ピアノを演奏して

幕が開ける。入場無料。

弾き手は四月二十五日まで公募。八十回記念となる今回の演奏会テーマ

「核廃絶や地球温暖化防止」への意見を、四百字以内にとまとめた文章などを基に八人を選ぶ。☎06(6771)0066、内線303。

(林淳一郎)

都市圏